

株式会社フルスピード
2011年7月期第1四半期 決算説明資料

(2010年8月1日 - 2010年10月31日)

2010.12.15

FULL SPEED
international

I	2011年7月期第1四半期決算概要	3
II	事業別概況	12
III	「フルスピードクラブ」強化施策の進捗	21
IV	2011年7月期業績計画	26

— 添付資料 —

A 新サービスの概要

C 財務データ

B 会社概要

D インターネット関連用語集

I . 2011年7月期第1四半期決算概要

I

2011年7月期第1四半期決算概要

1.	2011年7月期第1四半期決算 総括	4
2.	決算概要①: 連結前年同期/前第4四半期比較	5
3.	決算概要②: 単体前年同期/前第4四半期比較	6
4.	決算概要③: コア事業のみの業績(参考)	7
5.	決算概要④: 連結EBITDAの推移	8
6.	決算概要⑤: 単体業績(売上高/営業利益)の推移	9
7.	決算概要⑥: 連結貸借対照表の概況	10
8.	決算概要⑦: 有利子負債の推移	11

当第1四半期における当社単体の営業利益は大幅に改善

- 前期下期からの収益力強化に向けた取り組みが奏功。
単体営業利益では、月次ベースで安定した利益を創出できるまでに回復し、第1四半期計画値を上回って推移。
- 当第1四半期においては、資本業務提携先(TCBホールディングス株式会社:東証マザーズ*)の破産により、有価証券評価損として特別損失を計上したため、連結・単体ともに四半期純損失の結果に。

(*注:TCBホールディングス株式会社は、東証マザーズに上場していましたが、2010年11月5日に上場廃止)

フルスピードクラブが中核事業として順調に成長し、収益にも貢献

- 前期第2四半期よりフルスピードクラブの会員獲得に営業リソースを集中。
フルスピードクラブ事業が、当社の収益源として順調に成長。
当第1四半期では、売上総利益に占めるフルスピードクラブ事業の割合は16.5%。
- フルスピードクラブ会員が増加するに従い、コスト圧縮など会員顧客へのメリットをより多く提供できるようになり、結果的に当社利益の拡大に繋がるという好循環を生み出す。
- フルスピードクラブを中核事業とした好循環サイクルへ。

I -2.決算概要①:連結前年同期/前第4四半期比較

連結の当第1四半期実績は営業利益/経常利益ベースでは共に黒字に転換し、前第4四半期と比べると、大きく利益が改善。単体業績の急回復が増益の主な要因。

■ 連結

	2010年7月期	2010年7月期	2011年7月期	対前年1Q 増減額	対前年4Q 増減額
	1Q	4Q	1Q		
(単位:百万円)	2009/8/1~ 2009/10/31	2010/5/1~ 2010/7/31	2010/8/1~ 2010/10/31		
売上高	3,165	4,278	4,198	+1,033	-80
売上原価	2,384	3,181	2,814	+430	-367
<i>原価率</i>	<i>75.3%</i>	<i>74.4%</i>	<i>67.0%</i>		
売上総利益	780	1,096	1,384	+604	+288
販売費及び一般管理費	631	1,439	1,301	+670	-138
<i>販管費比率</i>	<i>19.9%</i>	<i>33.6%</i>	<i>31.0%</i>		
EBITDA^(※1)	219	△ 163	252	+33	+415
<i>EBITDA マージン</i>	<i>6.9%</i>	<i>-</i>	<i>6.0%</i>		
営業利益	148	△ 342	82	-66	+424
<i>営業利益率</i>	<i>4.7%</i>	<i>-</i>	<i>2.0%</i>		
営業外収益	13	25	19	+6	-6
営業外費用	11	29	23	+12	-6
経常利益	150	△ 345	79	-71	+424
<i>経常利益率</i>	<i>4.7%</i>	<i>-</i>	<i>1.9%</i>		
特別利益	38	29	0	-38	-29
特別損失	87	302	164	+77	-138
四半期純利益	53	△ 546	△ 136	-189	+410
<i>四半期純利益率</i>	<i>1.7%</i>	<i>-</i>	<i>-</i>		

(注) EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

※EBITDA(利払い税引き償却前利益: Earnings Before Interest Taxes Depreciation and Amortization)とは、他人資本を含む資本に対してどの程度のキャッシュフローを創出したかを簡易的に示す利益指標

I-3.決算概要②:単体前年同期/前第4四半期比較

単体の当第1四半期実績は、前期下半期からの収益力強化の様々な取り組みが奏功し、着実に利益を創出。主には、フルスピードクラブ事業の収益貢献とコスト削減の効果による。

■ 単体

	2010年7月期	2010年7月期	2011年7月期	対前年1Q 増減額	対前年4Q 増減額
	1Q	4Q	1Q		
	2009/8/1~ 2009/10/31	2010/5/1~ 2010/7/31	2010/8/1~ 2010/10/31		
(単位:百万円)					
売上高	2,486	2,227	2,108	-378	-119
売上原価	1,924	1,866	1,711	-213	-155
原価率	77.4%	83.8%	81.2%		
売上総利益	561	360	397	-164	+37
販売費及び一般管理費	455	375	308	-147	-67
販管費比率	18.3%	16.8%	14.6%		
EBITDA	138	58	98	-40	+40
EBITDAマージン	5.6%	2.6%	4.6%		
営業利益	106	△ 14	88	-18	+102
営業利益率	4.3%	-	4.2%		
営業外収益	2	27	14	+12	-13
営業外費用	8	15	18	+10	+3
経常利益	99	△ 1	84	-15	+85
経常利益率	4.0%	-	4.0%		
特別利益	74	29	0	-74	-29
特別損失	74	276	99	+25	-177
四半期純利益	70	△ 297	△ 16	-86	+281
四半期純利益率	2.8%	-	-		

- 当第1四半期における連結営業利益と単体営業利益の差について
 アパレル事業の収益が、ギルド子会社化に伴うのれんの償却額を補うまでに至らず、連結調整勘定(主にのれん償却分)が、連結の営業利益において負担となったことが主な要因となり、単体営業利益が連結の営業利益を上回る結果となりました。

I-4.決算概要③:コア事業のみの業績(参考)

コア事業(インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業、アフィリエイトサービスプロバイダー事業、インターネットメディア事業、データセンター事業)のみによる業績では、月間4千万円を超える営業利益の創出が可能に。今後は、コア事業に集中していく方針。

■ 連結・単体・コア事業のみの業績比較

(単位:百万円)

2011年7月期			
1Q			
2010/8/1~2010/10/31			
	連結	単体	コア事業のみ
子会社数	7	-	5
関連会社数	1	-	-
売上高	4,198	2,108	2,664
売上原価	2,814	1,711	2,053
<i>原価率</i>	<i>67.0%</i>	<i>81.2%</i>	<i>77.1%</i>
売上総利益	1,384	397	611
販売費及び一般管理費	1,301	308	482
<i>販管費比率</i>	<i>31.0%</i>	<i>14.6%</i>	<i>18.1%</i>
営業利益	82	88	128
<i>営業利益率</i>	<i>2.0%</i>	<i>4.2%</i>	<i>4.8%</i>

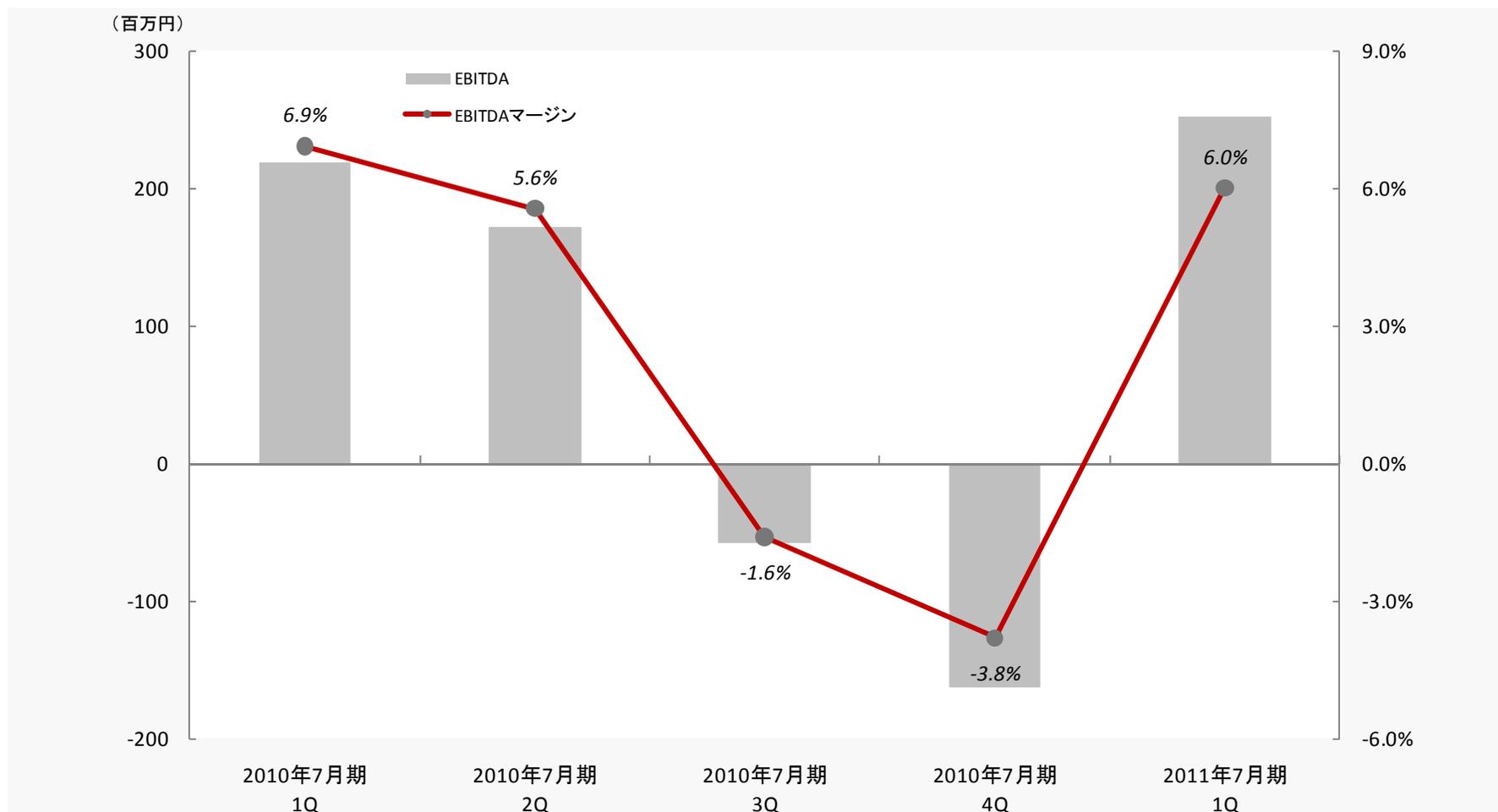
(注) コア事業のみの業績数値の算出について
コア事業のみの業績数値は、コア事業を主業とする当社単体および連結子会社4社の業績により参考値として算出しています。

I -5.決算概要④: 連結EBITDAの推移

当第1四半期において、キャッシュフローに基づく収益力を示すEBITDA(利払い税引き償却前利益)は大幅に改善。

当第1四半期のEBITDAは252百万円を確保し、前期第1四半期の水準にまで急回復。

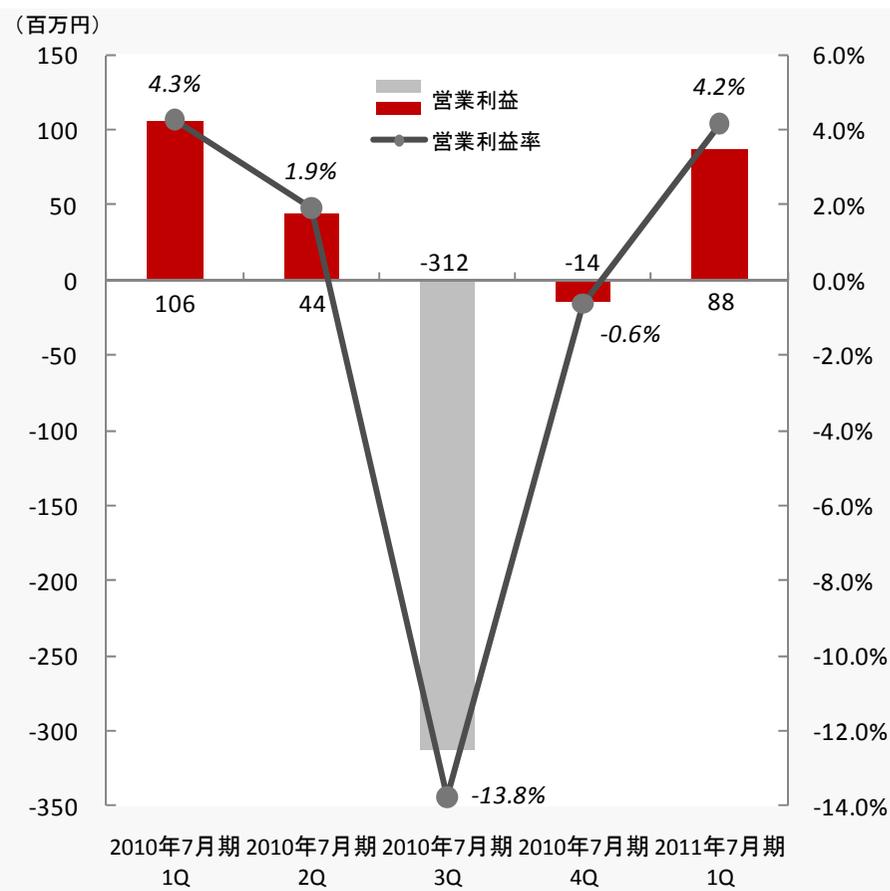
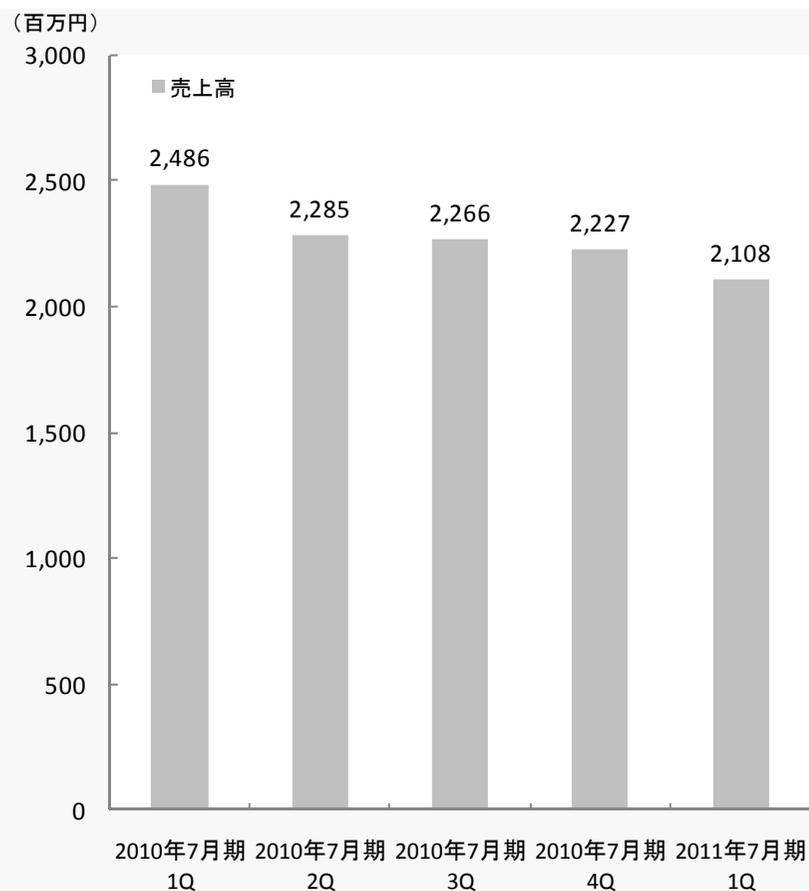
■ 連結EBITDAの四半期推移



I-6. 決算概要⑤: 単体業績(売上高/営業利益)の推移

単体の営業利益は、毎月、恒常的に月間数千万円程度の営業利益が計上できるまでに回復し、四半期を追うごとに着実に利益を拡大。利益貢献度の高いフルスピードクラブ会員数の増加とコスト削減による効果が、当第1四半期より確実に業績に寄与。

■ 単体売上高/営業利益の四半期推移



I-7. 決算概要⑥: 連結貸借対照表の概況

■ 資産の部

(単位: 百万円、以下切捨て)

	2010/7 (期末①)	2010/10 (1Q末②)	増減 (②-①)
現金及び預金	1,405	1,162	-243
売掛金	1,845	2,048	+203
未収入金	118	73	-45
商品	282	498	+216
その他	254	251	-3
流動資産合計	3,904	4,032	+128
建物(純額)	322	331	+9
工具、器具及び備品(純額)	265	298	+33
土地	172	172	0
その他(純額)	99	83	-16
有形固定資産合計	859	884	+25
のれん	2,385	2,235	-150
その他	64	60	-4
無形固定資産合計	2,449	2,295	-154
投資有価証券	330	245	-85
差入保証金	666	514	-152
繰延税金資産	70	79	+9
その他	76	56	-20
投資その他の資産	1,142	894	-248
固定資産合計	4,452	4,074	-378
総資産	8,356	8,107	-249

・ギルド(アパレル事業)の売掛金増加

・ギルド(アパレル事業)の商品増加

・のれん償却による減少

・本社オフィスの減床に伴う減少

■ 負債純資産の部

	2010/7 (期末①)	2010/10 (1Q末②)	増減 (②-①)
買掛金	1,724	1,734	+10
短期借入金	2,434	2,478	+44
1年内返済長期借入金	718	715	-3
未払金	397	326	-71
未払法人税等	126	46	-80
その他	209	231	+22
流動負債合計	5,608	5,530	-78
長期借入金	1,188	1,084	-104
その他	247	300	+53
固定負債合計	1,435	1,384	-51
負債合計	7,044	6,915	-129
資本金	697	697	0
資本剰余金	668	668	0
利益剰余金	△ 180	△ 317	-137
株主資本合計	1,184	1,047	-137
少数株主持分等	128	142	+14
純資産合計	1,312	1,192	-120
負債純資産合計	8,356	8,107	-249

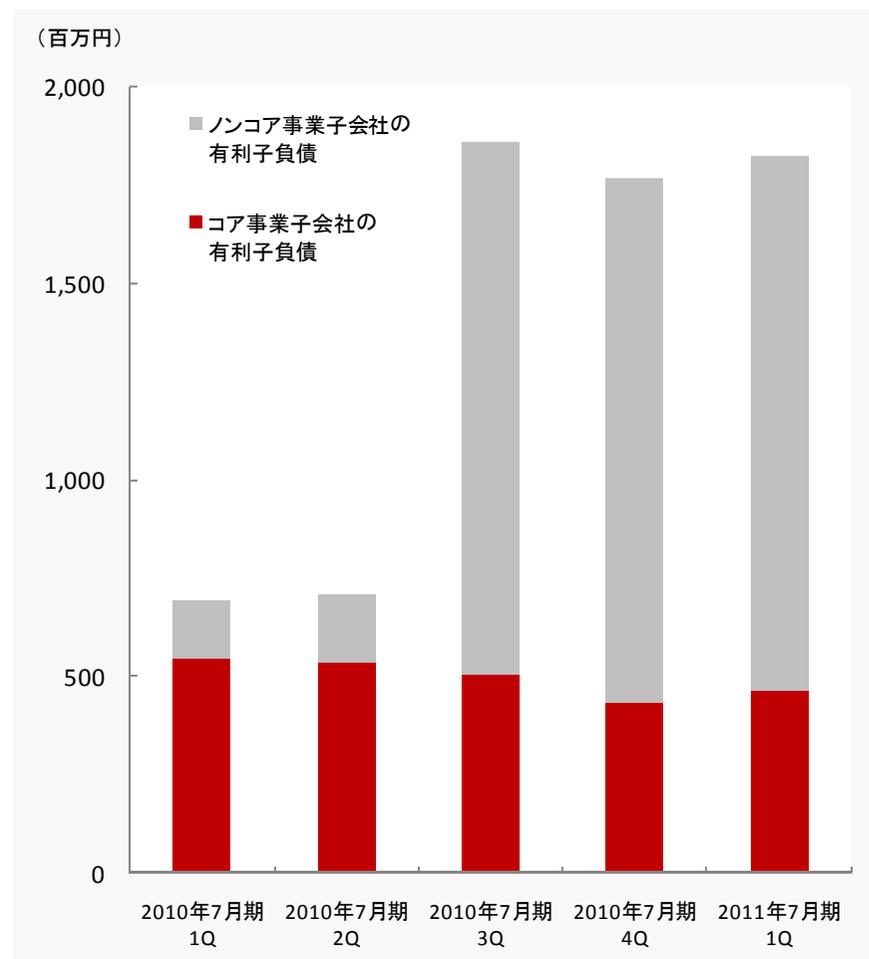
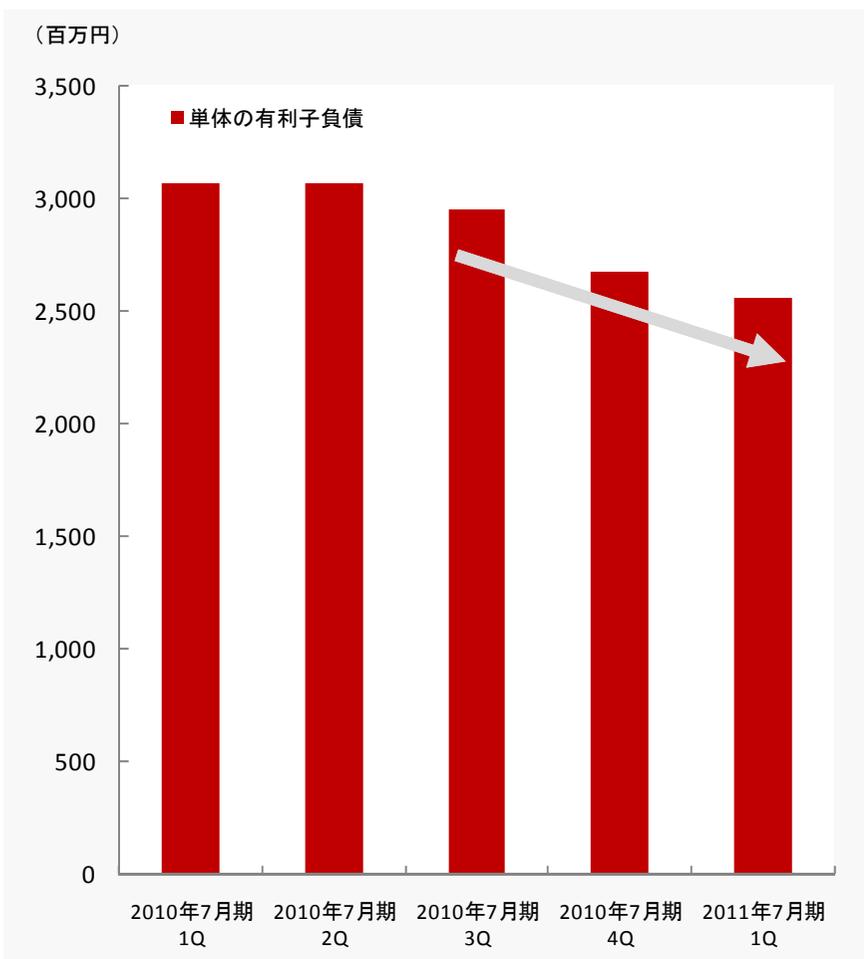
・有利子負債の削減計画に基づき、単体借入分の銀行への返済が進んだことによる減少

・当第1四半期における特別損失の計上による影響

I-8. 決算概要⑦: 有利子負債の推移

利益創出や資産の一部売却などを通じて、当社単体の借入返済を着実に遂行したことにより、有利子負債は減少。当第2四半期以降、さらなる有利子負債の削減に取り組む方針。一方、子会社の有利子負債は、ノンコア事業(主にアパレル事業)の借入額が大きく、同水準で推移。

有利子負債の四半期推移



Ⅱ. 事業別概況

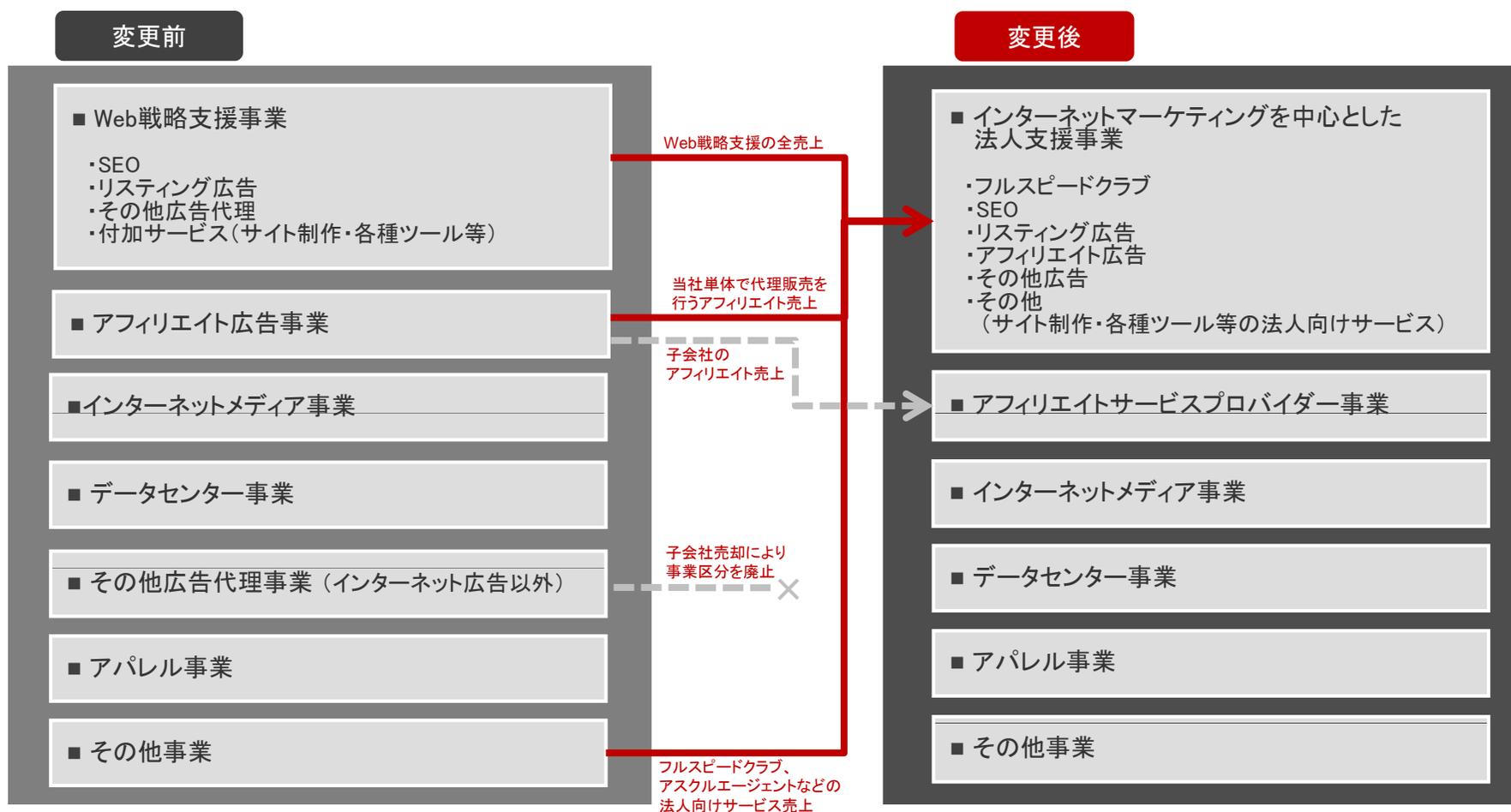
Ⅱ 事業別概況

1.	事業セグメントの変更	13
2.	事業別概況①:事業セグメント別収益構成	14
3.	事業別概況②:事業セグメント別収益構成	15
4.	事業別概況③:法人支援事業 フルスピードクラブ	16
5.	事業別概況④:法人支援事業 SEO/リスティング広告	17
6.	事業別概況⑤:アフィリエイト事業	18
7.	事業別概況⑥:EC事業/データセンター事業	19
8.	事業別概況⑦:アパレル事業	20

Ⅱ-1. 事業セグメントの変更

2011年7月期より、事業別の概況をわかりやすく開示するため、事業区分を変更

- ①「インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業」を新設
- ②「アフィリエイトサービスプロバイダー事業」を新設
- ③「その他広告代理事業」の事業区分は廃止（前期中に子会社を売却）



Ⅱ-2.事業別概況①:事業セグメント別収益構成

■ 事業セグメント別売上高/売上総利益

(単位:百万円、以下切捨て)

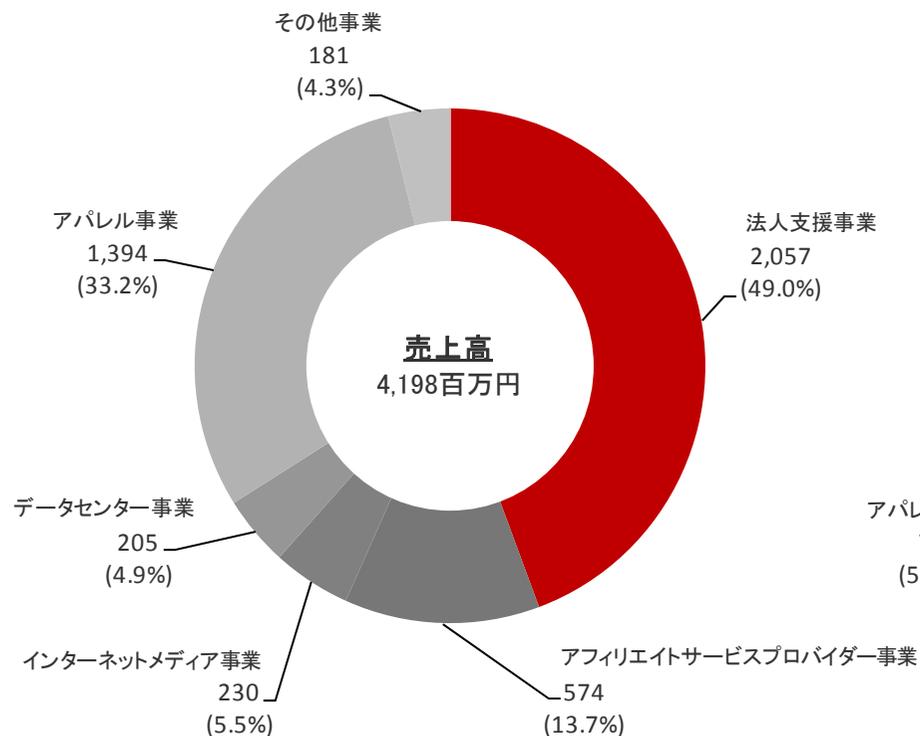
	売上高	売上高構成比	売上総利益	売上総利益率	売上総利益構成比
インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業	2,057	49.0%	385	18.7%	27.8%
フルスピードクラブ	236	5.6%	228	96.5%	16.5%
SEO	125	3.0%	56	45.4%	4.1%
リスティング広告	1,092	26.0%	49	4.5%	3.6%
アフィリエイト広告	477	11.4%	39	8.3%	2.9%
その他広告	71	1.7%	3	5.1%	0.3%
その他	54	1.3%	7	13.7%	0.4%
アフィリエイトサービスプロバイダー事業	574	13.7%	86	15.1%	6.3%
インターネットメディア事業	230	5.5%	52	22.9%	3.8%
Webサイト運営・販売事業	7	0.2%	6	81.8%	0.4%
EC事業	223	5.3%	46	20.9%	3.4%
データセンター事業	205	4.9%	74	36.4%	5.4%
アパレル事業	1,394	33.2%	751	53.9%	54.3%
その他事業	181	4.3%	35	19.8%	2.6%
全社又は消去	△ 444	△ 10.6%	△ 2	-	△ 0.2%
連結合計	4,198	100.0%	1,384	33.0%	100.0%

(注)事業セグメントの略称について

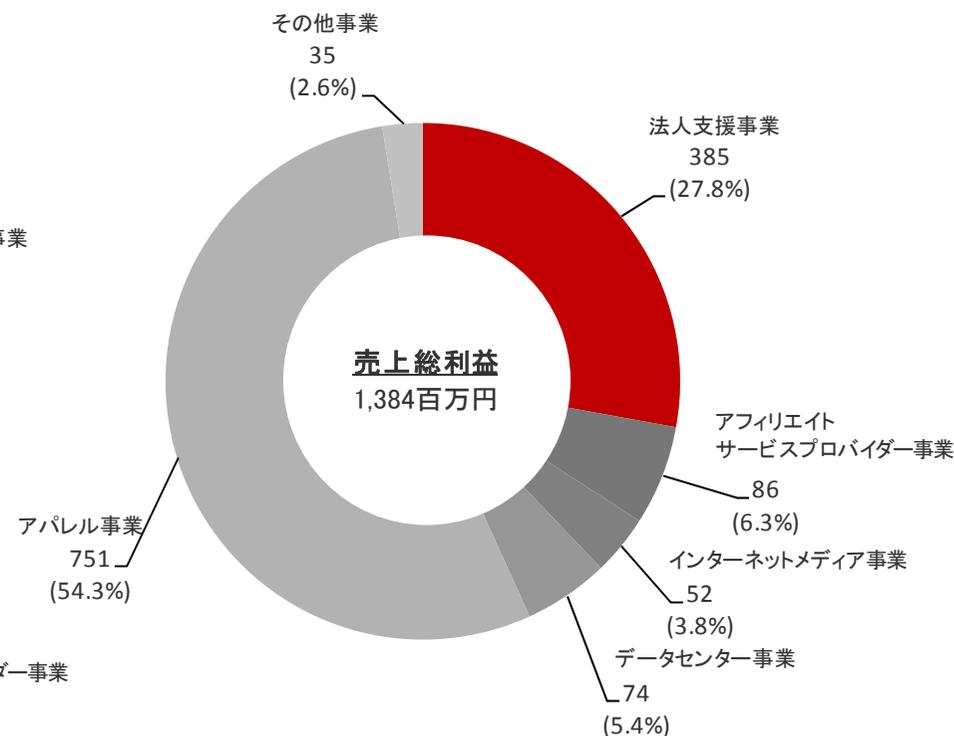
本資料において、次頁以降では、インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業を「法人支援事業」、アフィリエイトサービスプロバイダー事業を「アフィリエイト事業」とそれぞれ省略し記載しています。

Ⅱ-3.事業別概況②:事業セグメント別収益構成

■ 売上高の構成割合

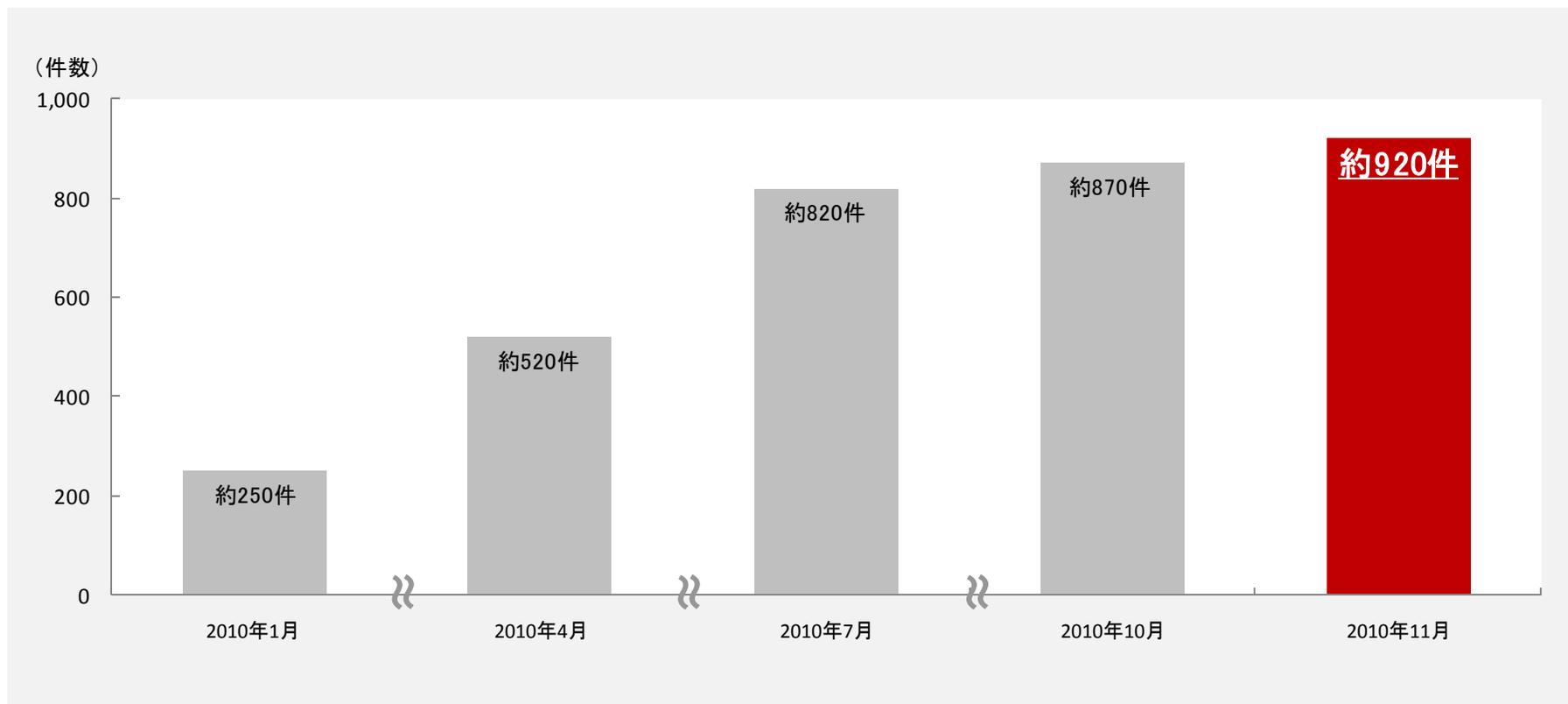


■ 売上総利益の構成割合



- 法人支援事業の売上総利益に占める割合は27.8%。
フルスピードクラブを中核サービスとして、利益貢献する事業として着実に成長
- アパレル事業の売上総利益に占める割合は54.3%と高いが、
連結調整勘定(ギルド取得時ののれん償却分)が負担となり、連結の最終利益には貢献せず

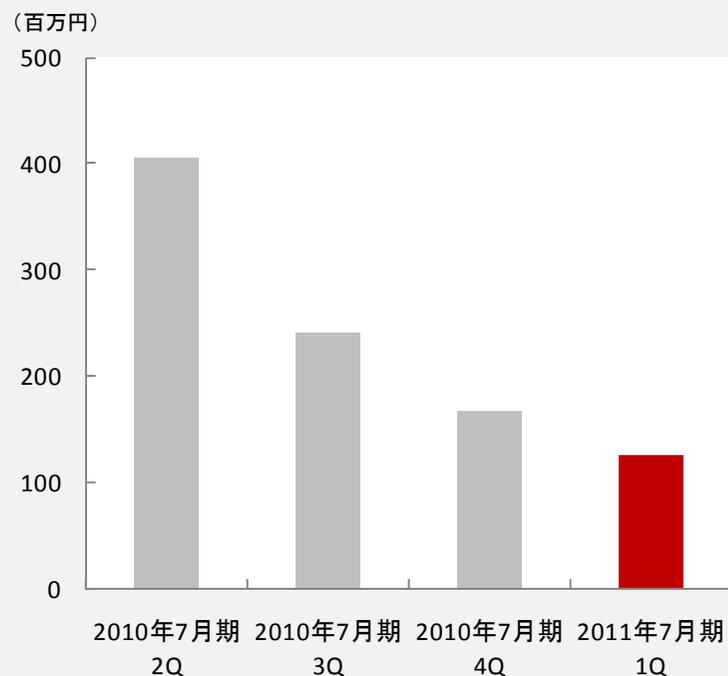
■ フルスピードクラブの契約件数の推移



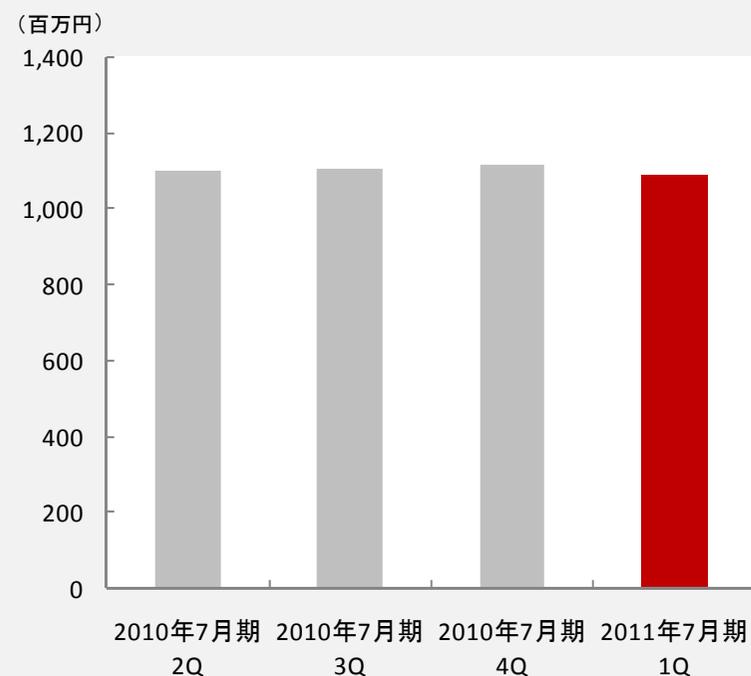
- 積極的な営業活動と商品力が奏功し、毎月増加ペースを維持
- 積み上げ型ビジネスのため、会員数が増加するほど収益の安定化に繋がる

Ⅱ-5.事業別概況④:法人支援事業 SEO/リスティング広告

■ SEO売上高の推移



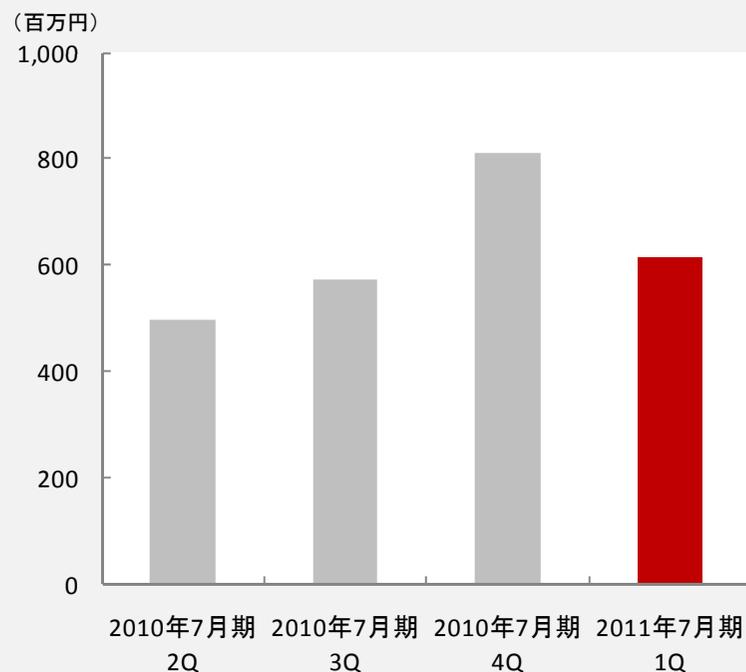
■ リスティング広告売上高の推移



- フルスピードクラブを軸に営業活動を展開し、各商材の売上に拘らない営業スタイル
- SEO、リスティング広告などをより質の高いサービスへと進化させるため、高度なWebマーケティング技術を有する外部人材のノウハウを活用するなど、サービス部門の強化を実施

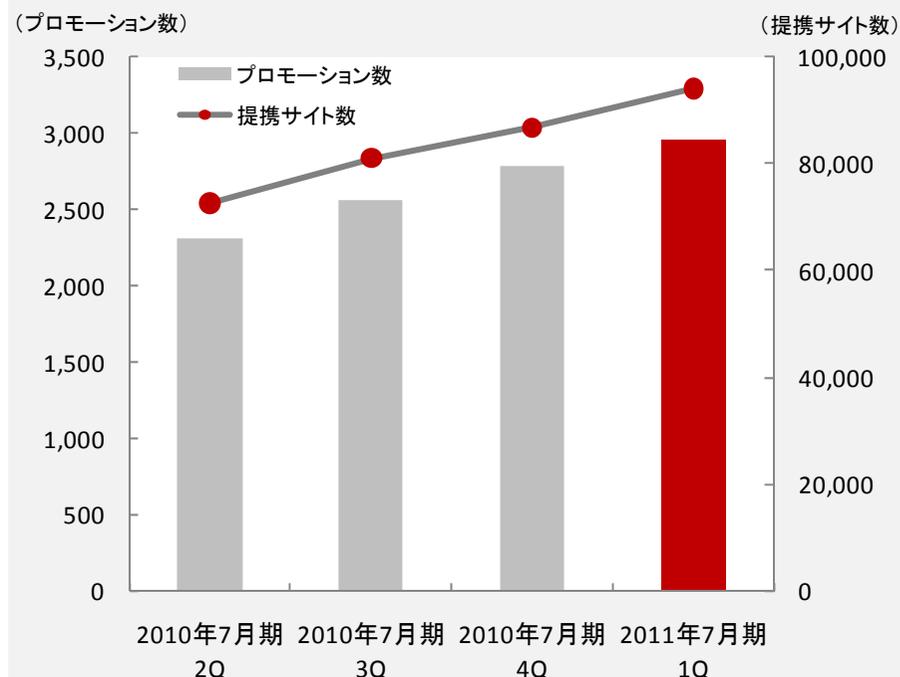
Ⅱ-6.事業別概況⑤:アフィリエイト事業

■ アフィリエイト事業売上高の推移



(注) 事業区分の変更に伴い、比較に際して用いる当第1四半期の数値は、法人支援事業のアフィリエイト広告とアフィリエイトサービスプロバイダー事業の各売上高を合算したものを内部取引額を消去した数値を算出し、比較しています。

■ プロモーション数/提携サイト数の推移



- 当第1四半期では若干FX業界の規制強化による影響を受けたが、非常に堅調な推移
- 物販を中心に新たな顧客開拓を推進したことにより、プロモーション数は順調に拡大

EC事業の概況

- 当社単体が保有するECサイトの運営からは撤退の方向
- ベッコアメ・インターネット(子会社)が運営する消費者向けECおよびモバイルEC運営受託は順調な展開
 - ・ 運営者側でのノウハウを収集することは、本業ビジネスにも活用できる重要な資産
 - ・ 運営ノウハウを活かし、ギルドコーポレーション(子会社)のアパレルECサイトの運営を開始

データセンター事業の概況

- ホスティングの需要が順調に拡大
 - ・ 引き続き、コンテンツプロバイダーからの受注は増加傾向
 - ・ 付加価値の高いアプリケーションサービスの提供により、1顧客当たりの売上高が増加
- 今後は地方のISP事業者向けに、営業を積極的に展開する方針
 - ・ フリービットと共同で営業することにより、クロスセルを推進

アパレル事業の概況

- 個人消費の低迷や低価格攻勢、長引く残暑など気候の影響を受けるなど厳しい事業環境
 - ・ 特に、残暑や長雨の影響により客足が鈍り、秋冬物の販売開始時期に遅れが生じる
- 広告宣伝や様々な販売戦略を実行するなど、積極的な販売施策を展開
 - ・ 厳しい環境のなか、巻き返しを図るために積極的な販売活動を行うものの、期初計画を下回る結果（のれん償却分を補えず）
 - ・ 現在は、施策の効果が出始め、今後、販売ペースは回復する見通し

アパレル事業の位置づけについて

- アパレル事業は、ノンコア事業に位置付け
- ノンコア事業の整理については、今期(2011年7月期)中にその処理方針を固める予定

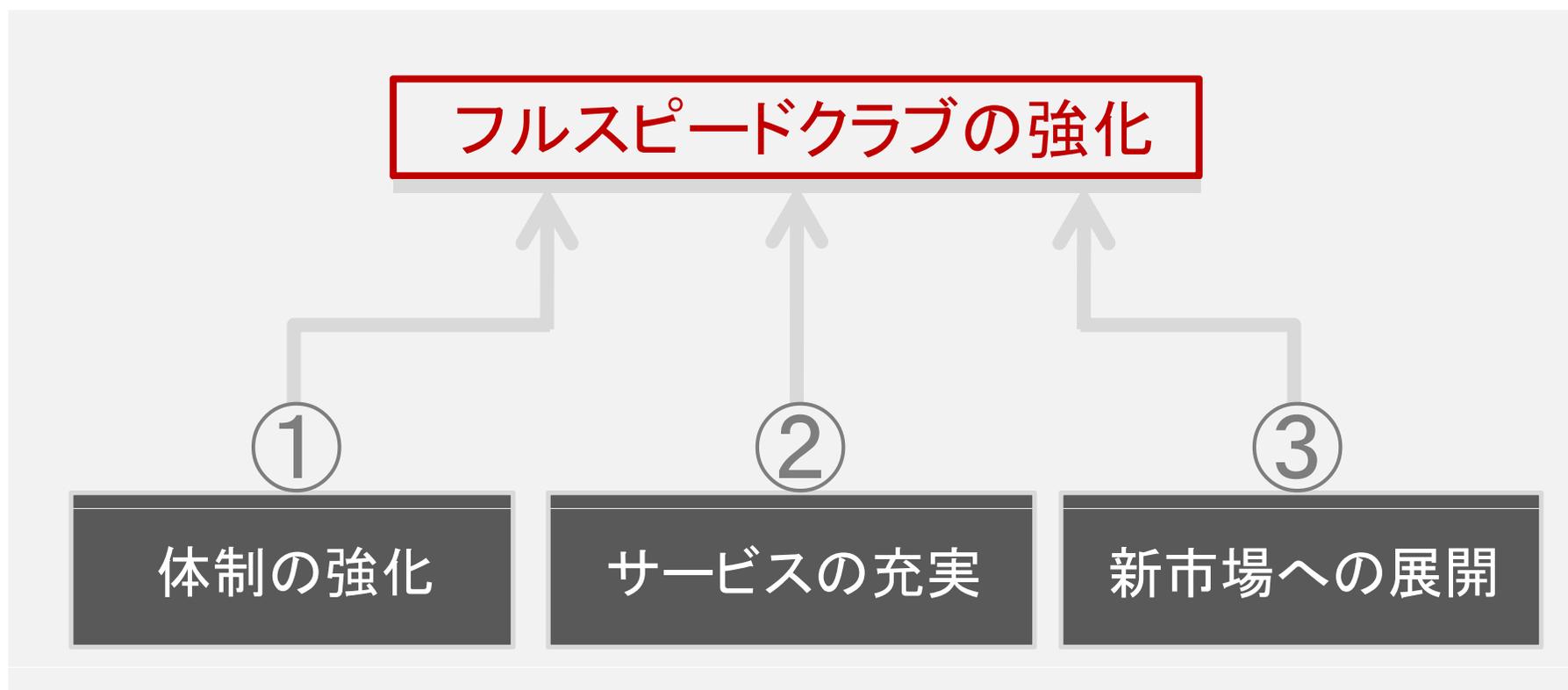
Ⅲ. 「フルスピードクラブ」強化施策の進捗

Ⅲ 「フルスピードクラブ」強化施策の進捗

- | | | |
|----|----------------|----|
| 1. | フルスピードクラブの強化方針 | 22 |
| 2. | 進捗状況:①体制の強化 | 23 |
| 3. | 進捗状況:②サービスの拡充 | 24 |
| 4. | 進捗状況:③新市場への展開 | 25 |

フルスピードクラブを中核とした事業基盤の確立が最優先課題
引き続き、フルスピードクラブ事業の育成に注力することで、収益基盤を強化

3つの強化ポイント



フルスピードクラブ強化施策の進捗状況

営業/サービス運営体制の強化とコア人材の育成

■ Webマーケティングノウハウや、営業ノウハウの共有化を推進することで、人材育成を強化

- ー 専門的かつ高度なノウハウを、組織として活用できる仕組みづくり
- ー 代表自らが講師を務める勉強会や、Webマーケティングの豊富なケーススタディの共有会など
属人的になりやすい営業ノウハウ・Webマーケティングノウハウの共有化を推進
- ー 人材育成と積極採用を同時に進め、部門や各プロジェクトの組織力を強化

■ 顧客満足度をさらに向上させるため、営業部門だけでなく、サービス部門の強化に着手

- ー 各勉強会、研修制度の見直しを図り、有効な教育体制を再構築
人材レベルの底上げを図り、サービスの質の向上につなげる

■ 特に高度な知識を有するコア人材の育成に注力

フルスピードクラブ強化施策の進捗状況

既存サービスの強化と新サービスの拡充

■ 既存サービスについては、顧客満足度の向上に向け、工夫/改善を実施

- ー フルスピードクラブ会員企業を対象に、既存サービスの満足度調査を実施
- ー 既存サービスの質向上に向け、高度な知識やノウハウを有する外部人材の協力やサービス部門の強化を実施
- ー 顧客ニーズの変化を的確に捉えることで、既存サービスの質向上だけでなく、新サービスの企画・開発にも活用

■ 第1四半期中に開始した「SEO顧問サービス」、「ITコスト半額コンサルサービス」、「Twitterコンサルティングサービス」のいずれも企業の関心は高く、今後の受注増加に期待大

- ー 特に「Twitterコンサルティングサービス」への需要は旺盛
- ー フリービット社との協力関係により、プロジェクトの進展が加速
- ー 顧客ニーズに則したサービス拡充のため、アライアンス部による新サービスの積極開拓を推進
この他、続々と新サービスを企画。第2四半期にも、現在準備中のサービスを一部リリースする予定

フルスピードクラブ強化施策の進捗状況

フルスピードクラブの商品ラインの多様化と国内の実績を海外へ展開

■ フルスピードクラブの商品ラインの多様化による新たな市場を開拓

- ー 既存の「フルスピードクラブ」に加えて、ラインナップを拡張し、大企業向けに特化した「フルスピードクラブ」のサービス、業界を限定した「フルスピードクラブ」のサービス等、数種類のパッケージを用意することも検討中

■ 「フルスピードクラブ」の中国展開に着手。「フルスピードクラブ・チャイナ」の営業を開始

- ー 中国におけるWebサイトの運営にはICP*登録、ECサイトの運営にはICPライセンス*の取得がそれぞれ義務づけられている等、中国進出に必要となる手続き段階からサポートが可能
- ー 会費にはSEO1ワードやWeb解析、分析の調査報告のサービスなどを含み、Web戦略支援を軸にサービスを提供

*注:ICPとは、「Internet Content Provider」の略語で、中国政府が情報統制のために実施するサイト審査制度のこと。
中国国内で公開している非営利のWebサイトはICP登録の取得が必要であり、取得しないと罰せられる。また、オンラインショップなどの営利のサイトを運営する場合は、ICPライセンスの取得が必要。

IV. 2011年7月期業績計画

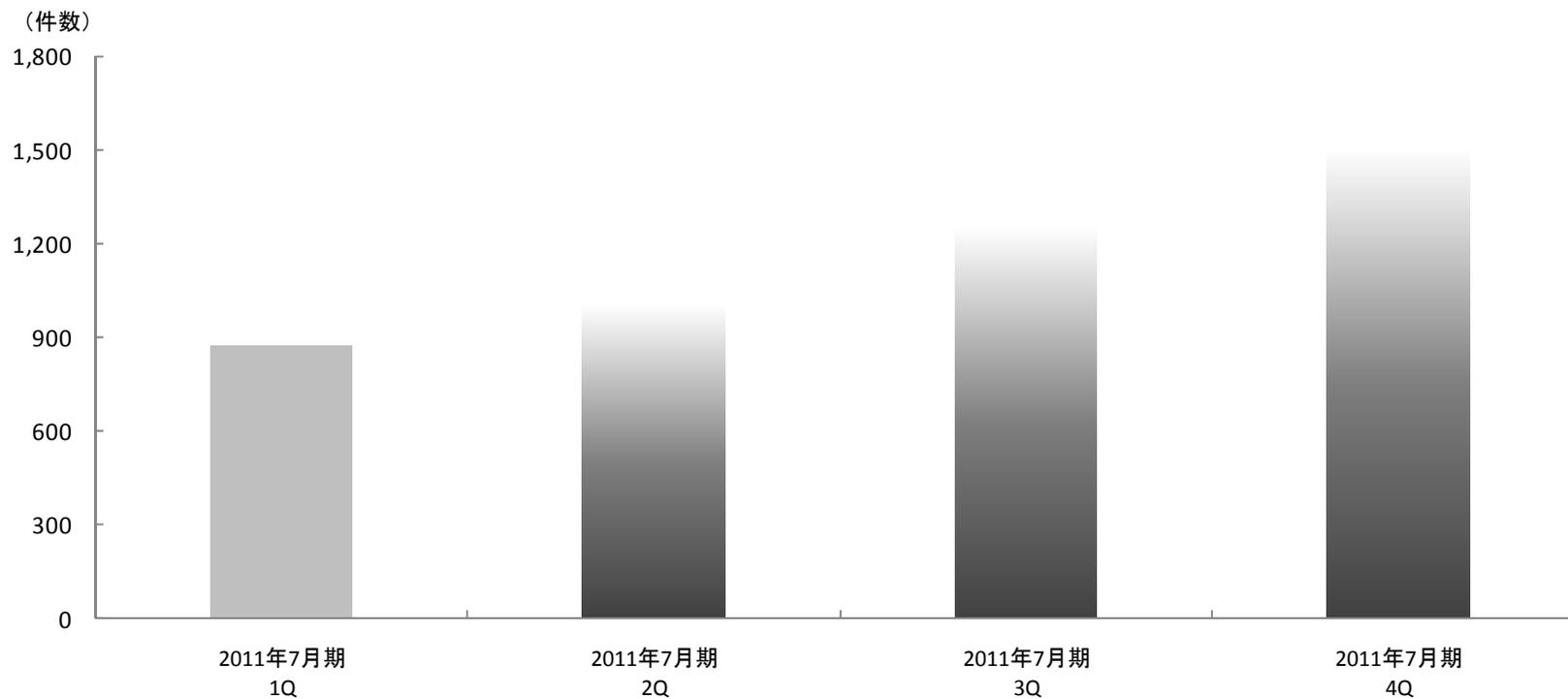
IV

2011年7月期業績計画

1. フルスピードクラブの2011年7月期目標	27
2. 2011年7月期 業績計画（単体PL）	28
3. 2011年7月期 業績計画（連結PL）	29
4. これからのフルスピード	30

2011年7月期末時点の契約件数目標:

約1,500件



V-2.2011年7月期 業績計画(単体PL)

当第1四半期の単体PLでは、投資有価証券評価損などの特別損失を計上し、当期利益においては計画を下回るものの、営業利益は計画を大幅に上回り進捗。

■ 第2四半期累計・本決算の業績見通し(単体)

	第2四半期累計			通期		
	2010年7月期 (実績)	2011年7月期 (予想)	対前年差額	2010年7月期 (実績)	2011年7月期 (予想)	対前年差額
	2009/8/1~ 2010/1/31	2010/8/1~ 2011/1/31		2009/8/1~ 2010/7/31	2010/8/1~ 2011/7/31	
(単位:百万円)						
売上高	4,771	3,997	△ 774	9,266	8,376	△ 890
売上高成長率	-10.2%	-16.2%		-15.5%	-9.6%	
EBITDA	219	99	△ 120	58	403	+345
EBITDAマージン	4.6%	2.5%		-	4.8%	
営業利益	150	74	△ 76	△ 175	355	+530
営業利益率	3.1%	1.9%		-	1.9%	
経常利益	128	53	△ 75	△ 302	304	+606
経常利益率	2.7%	1.3%		-	1.7%	
当期純利益	△ 508	53	+561	△ 1,448	238	+1,686
当期純利益率	-	1.3%		-	1.3%	
1株当たり当期純利益(円)	△ 3,560.28	373.83	+3,934.11	△ 10,131.07	1,663.40	+11,794.47

V-3.2011年7月期 業績計画(連結PL)

当第1四半期の連結PLでは、アパレル事業において厳しい環境が続いているものの、単体業績が計画以上に推移していることにより、概ね計画どおりに進捗。

アパレル事業などのノンコア事業については、2011年7月期中に方向性を決定する予定。

■ 第2四半期累計・本決算の業績見通し(連結)

	第2四半期累計			通期		
	2010年7月期 (実績)	2011年7月期 (予想)	対前年差額	2010年7月期 (実績)	2011年7月期 (予想)	対前年差額
	2009/8/1~ 2010/1/31	2010/8/1~ 2011/1/31		2009/8/1~ 2010/7/31	2010/8/1~ 2011/7/31	
(単位:百万円)						
売上高	6,260	9,545	+3,285	14,129	18,256	+4,127
売上高成長率	-2.6%	52.5%		6.6%	29.2%	
EBITDA	458	906	+448	△ 163	1,517	+1,680
EBITDAマージン	7.3%	9.5%		-1.2%	8.3%	
営業利益	247	582	+335	△ 268	869	+1,137
営業利益率	3.9%	6.1%		-	4.8%	
経常利益	237	553	+316	△ 421	818	+1,239
経常利益率	3.8%	5.8%		-	4.5%	
当期純利益	△ 505	145	+650	△ 1,651	250	+1,901
当期純利益率	-	1.5%		-	1.4%	
1株当たり当期純利益(円)	△ 3,539.64	1,011.81	+4,551.45	△ 11,546.50	1,742.43	+13,288.93

「フルスピードクラブ」を中核としたコア事業に集中
コア事業による安定した収益基盤の形成

BSを改善し、強固な財務体質を備えた企業へ変革



当期中に本格的な業績回復を実現予定
再び成長軌道へ

(添付資料) A.新サービスの概要

A

新サービスの概要

- | | | |
|----|---------------------------|----|
| 1. | 新サービス:SEO顧問サービス | 32 |
| 2. | 新サービス:ITコスト半額コンサルサービス | 33 |
| 3. | 新サービス:Twitterコンサルティングサービス | 34 |
| 4. | 新サービス:フルスピードクラブ・チャイナ | 35 |
| 5. | 新サービス(予定):有料ディレクトリ登録サービス | 36 |

A-1.新サービス:SEO顧問サービス

現在SEOを行っている企業向けに、個別にSEOの指導や高度なノウハウを用いた追加施策の提案により、SEO効果を飛躍的にUPさせること、さらにはSEOとソーシャルメディア等の新しい媒体・ツールとの連携を企業ニーズに合わせ実現することをめざし、「SEO顧問サービス」を10月25日より開始。

サービス開始の背景

- 現在、すでにSEOを導入している企業は数多くあるものの、ノウハウ不足や一般的かつ定型的な作業しかできていないこと等の理由で、きちんと成果を上げられていない企業が多い現状
- Twitterなどの新たなコミュニケーションツールが登場したことで、Webマーケティングにおける可能性やニーズがさらに多様化

「SEO顧問サービス」の概要

- サービス概要:
 - SEOサービスを国内で急拡大させたパイオニアである芳賀麻奈穂をはじめ、SEOおよびWebマーケティングの業界で豊富な経験を持つ当社の3名(植山章博、田中雅人、深井秀行)のプロフェッショナルが直接お客様に対応していくサービス
 - 専用のメールアドレスを用いた、メールでのサービス提供が基本
 - SEOの現状分析や、今後の戦略案、具体的な対策方法などを提案。またSEOに関するお問い合わせを随時受け付け、可能な限り速やかに回答

- サービス価格(契約期間:6か月):

初期費用	0円	⇒	《フルスピードクラブ会員特別価格》	
月額コンサルティング料	月額10万円		月額コンサルティング料	月額5万円

- その他:100社限定のサービス

A-2.新サービス:ITコスト半額コンサルサービス

フリービットと共同で提供する新サービスの第1弾。
「フルスピードクラブ」会員を対象に、企業のITインフラコストを半額に削減するサービスを11月1日より開始。

フリービットとの新サービスにおける協働

- フリービットが持つコスト競争力が高いISPやIDCなどの事業者向け各種ITインフラサービスを一般法人向けにカスタマイズし、企業のITインフラコスト(回線、サーバー、VPN等)を約50%削減する圧倒的なコストパフォーマンスのコンサルティングサービス
- 継続利用のインフラサービスを投入することにより、フルスピードクラブの長期利用にもつながる

「ITコスト半額コンサルサービス」の概要

- 対象企業:
 - フルスピードクラブ会員企業
- サービス内容:
 - フリービットグループが提供する企業向けITインフラサービスの全般を組み合わせ提供
 - 主なサービスは、仮想専用サーバーサービス、仮想データセンターサービス、インターネット接続サービス、ブロードバンドVPNサービス

■ サービス価格

《フルスピードクラブ会員特別価格》

既存のITインフラサービスの利用料(原則、既存のITインフラサービスのランニングコスト)の50%

A-3.新サービス: Twitterコンサルティングサービス

Twitterマーケティングのアドバイスから運用までを支援する法人向け「Twitterコンサルティングサービス」を11月1日より開始。

ソーシャルメディア活用の重要性

- mixi、Facebookに代表されるSNSの利用者が急拡大する中、とりわけTwitterについては、ユーザーとリアルタイムに触れあうことができる有効なツールとして中小企業から大手企業までもが注目し、ユーザー利用数が急速に拡大(2010年8月時点では、1,000万ユーザを突破[全インターネットユーザーの約16%])
- 企業は、Twitterの特性を十分に理解し、いち早くTwitterの特性を最大限活用した有効なマーケティング手法を展開していくことが必要

「Twitterコンサルティングサービス」の概要

- ターゲット顧客: Twitterでマーケティングを行う法人
- サービスメニュー:
 - 6か月間のマーケティング・コンサルティングの実施とフリービット開発の「Twitterマーケティングツール」提供によりノウハウを移管
- サービス価格(契約期間:6か月):

初期費用	0円		
月額コンサルティング料	月額10万円	⇒	《フルスピードクラブ会員特別価格》 月額コンサルティング料 月額5万円

A-4.新サービス:フルスピードクラブ・チャイナ

日本での「フルスピードクラブ」の実績を海外展開に活かしていく計画。
まずは、成長著しい中国に着目し、中国進出企業または進出予定の企業を対象に、「フルスピードクラブ・チャイナ」の提供を11月1日より開始。

フリービットと共同による海外展開

- 当社の持つWebマーケティングノウハウと、フリービットのITインフラテクノロジー、特に中国国内でのITサービス提供にまつわる各種法規制への対応と、実際のホスティング、さらには中国進出企業の多くが頭を悩ませている日中間のインターネット回線のクオリティや、電話料金の課題を一括解決

「フルスピードクラブ・チャイナ」の概要

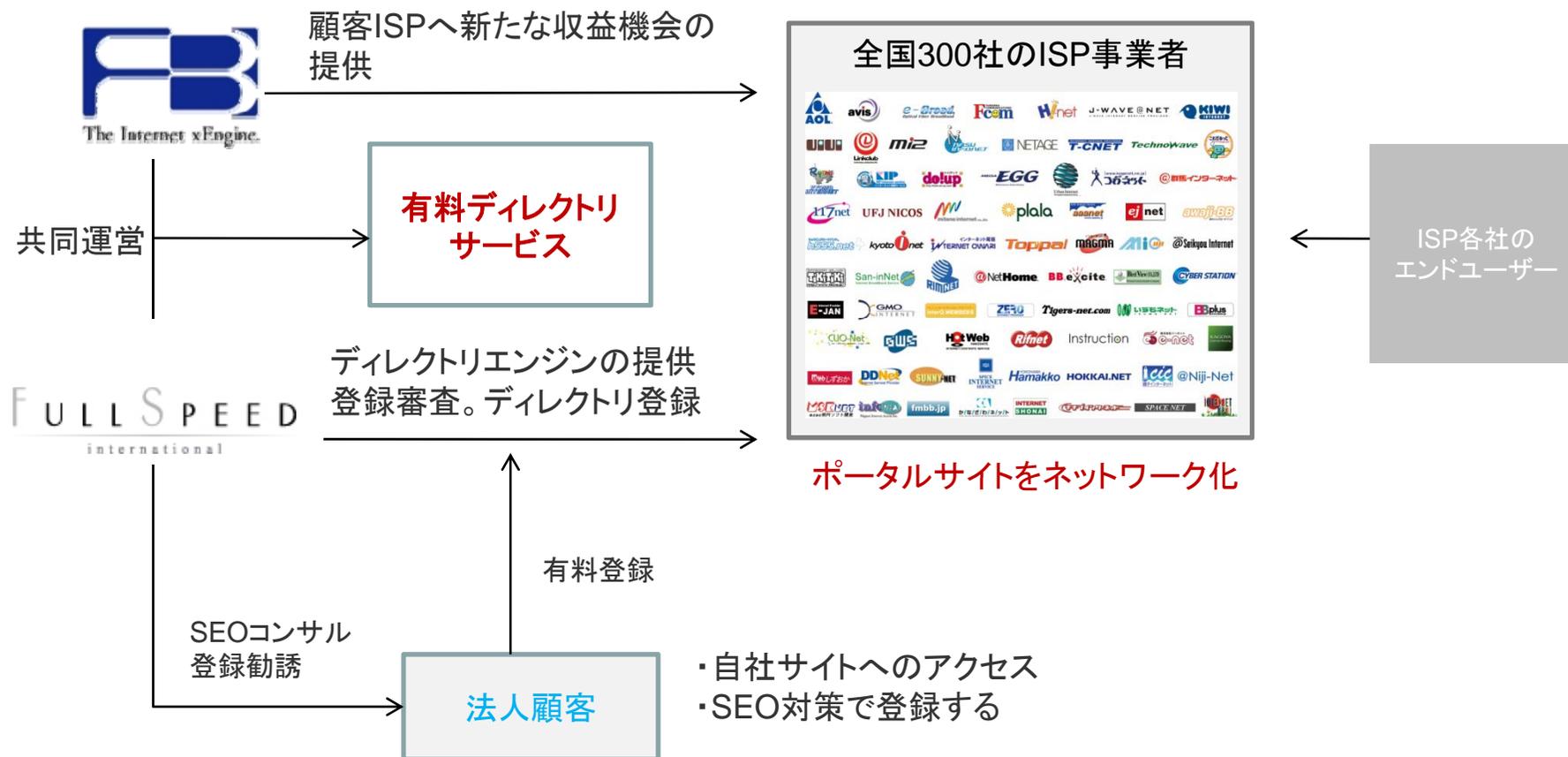
- 価格
会費として月額20万円
- サービス内容
会費には、SEO1ワードと仮想専用サーバ1つ、解析ツールが含まれ、その他サービスについては、会員特別価格を設定し、会費以上の価値を提供

(具体的なサービス内容)

サービスカテゴリ	概要
Web 戦略支援	<ul style="list-style-type: none">・中国検索エンジン対応 SEO ※SEO1ワードが無料・中国検索エンジン対応リスティングサービス・中国語サイト作成支援・決済サービス(近日提供予定)
IT 戦略支援	<ul style="list-style-type: none">・中国国内の Web サイト/インターネットビジネスに関わる各種法規制対応・安定したクオリティと最新の中国のインフラ事情に対応したホスティングサービス ※仮想専用サーバ1つが無料・日中間仮想専用線サービス・日中間電話料金低減サービス
経営/営業戦略支援	<ul style="list-style-type: none">・中国最新事情に関するコンサルティング・中国企業等とのマッチング・中国有名経営者などの講演会等その他

A-5.新サービス(予定): 有料ディレクトリ登録サービス

フルスピード・フリービットのノウハウおよび資産を活用した新たな収益モデルとして、フリービットのISP顧客であるISPポータルサイトをネットワーク化する有料ディレクトリサービスを開始する予定。
(近日リリース予定)



両社の保有資産を収益化して、FS、FBグループで年間数億円単位の利益追加をめざす

(添付資料) B.会社概要

A

会社概要

1.	会社概要	38
2.	当社グループの主な事業	39
3.	現在の事業構成(コア事業/ノンコア事業の分類)	40
4.	当社グループの概要	41
5.	社員数の推移(単体・連結)	42
6.	株主の状況	43

B-1.会社概要

株式会社フルスピード 概要

社名 株式会社フルスピード
英文社名 Full Speed Inc.
設立日 2001年1月4日
上場日 2007年8月2日（東証マザーズ市場:2159）

役員
取締役会長 田中 伸明
代表取締役社長 芳賀 麻奈穂
取締役CFO 泉 健太
取締役 加藤 浩司
取締役 植松 聡介
常勤監査役 高原 俊介
監査役 齊藤 文彦
監査役 永井 清一
監査役 清水 高

グループ
事業内容
・インターネットマーケティングを中心とした
法人支援事業
・アフィリエイトサービスプロバイダー事業
・インターネットメディア事業
・データセンター事業
・アパレル事業
・その他法人向け事業

従業員数
連結462名（うち正社員327名）
単体160名（うち正社員155名）
2010年10月末日現在

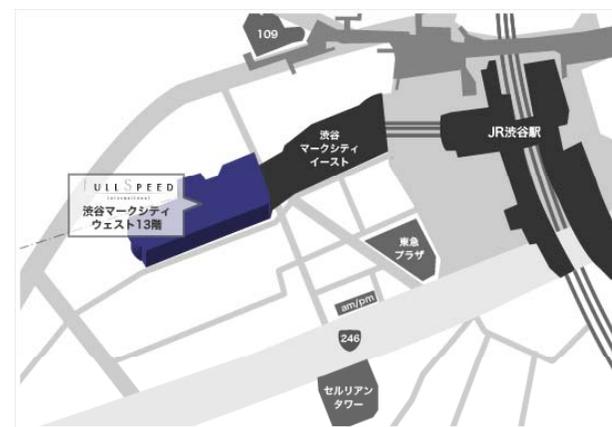
本社
〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号
渋谷マークシティウエスト13階
TEL:03-5728-4460（代表） [渋谷マークシティウエスト（外観）]
FAX:03-5728-4461



【アクセス・経路】

- 東急東横線
（渋谷駅正面口より京王井の頭線渋谷駅方面徒歩5分）
- 京王井の頭線
（渋谷駅中央口よりEAST MALL 2Fに直結 徒歩3分）
（渋谷駅アベニュー口よりRESTAURANTS AVENUE 4Fに直結徒歩1分）
（渋谷駅西口よりWEST MALL 1Fに直結 徒歩3分）
- 東京メトロ半蔵門線・副都心線
東急田園都市線
（渋谷地下街5番出口より京王井の頭線渋谷駅方面徒歩5分）
- 東京メトロ銀座線
（渋谷駅東急東横店改札より京王井の頭線渋谷駅方面徒歩5分）
- JR山手線・埼京線
（渋谷駅玉川改札より京王井の頭線渋谷駅方面徒歩5分）

【アクセス・マップ（本社）】

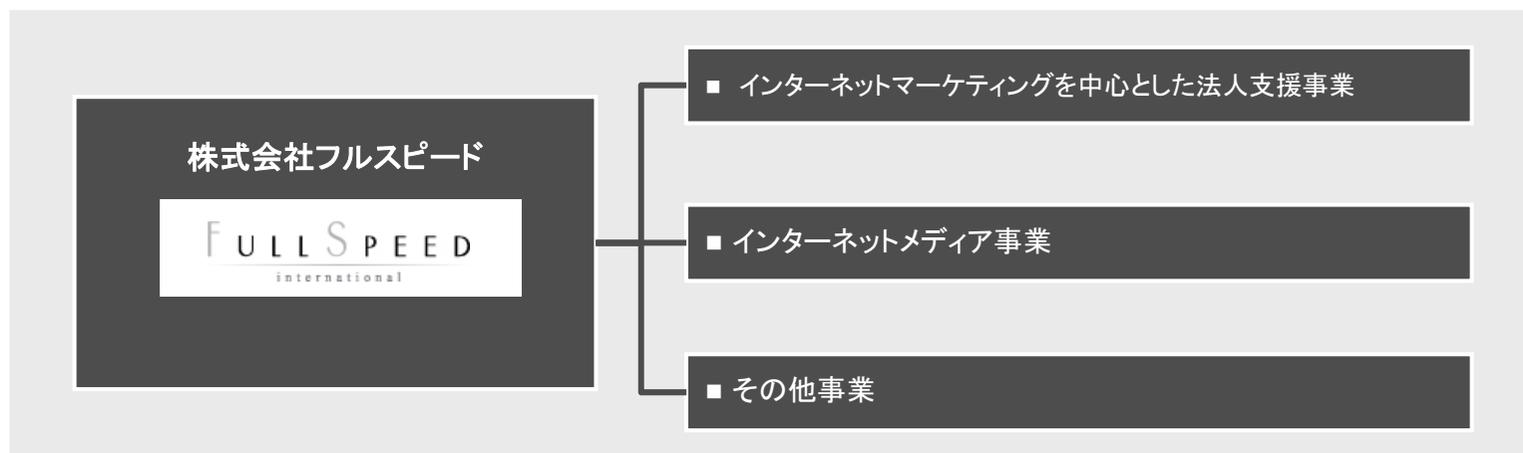


B-3.現在の事業構成(コア事業/ノンコア事業の分類)

会員制サービス「フルスピードクラブ」をはじめとする法人向け事業に経営資源を集中。
当社グループのコア事業を法人向け事業とし、それ以外の事業をノンコア事業と分類。



B-4. 当社グループの概要



連結子会社

株式会社ファンサイド

- ・インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業

株式会社フライト

- ・インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業

株式会社フォーイット

- ・アフィリエイトサービスプロバイダー事業

株式会社ベッコアメ・インターネット

- ・データセンター事業
- ・インターネットメディア事業 (EC)
- ・その他事業

株式会社JPS

- ・その他事業

ギルドコーポレーション株式会社

- ・アパレル事業

関連会社

株式会社A-box

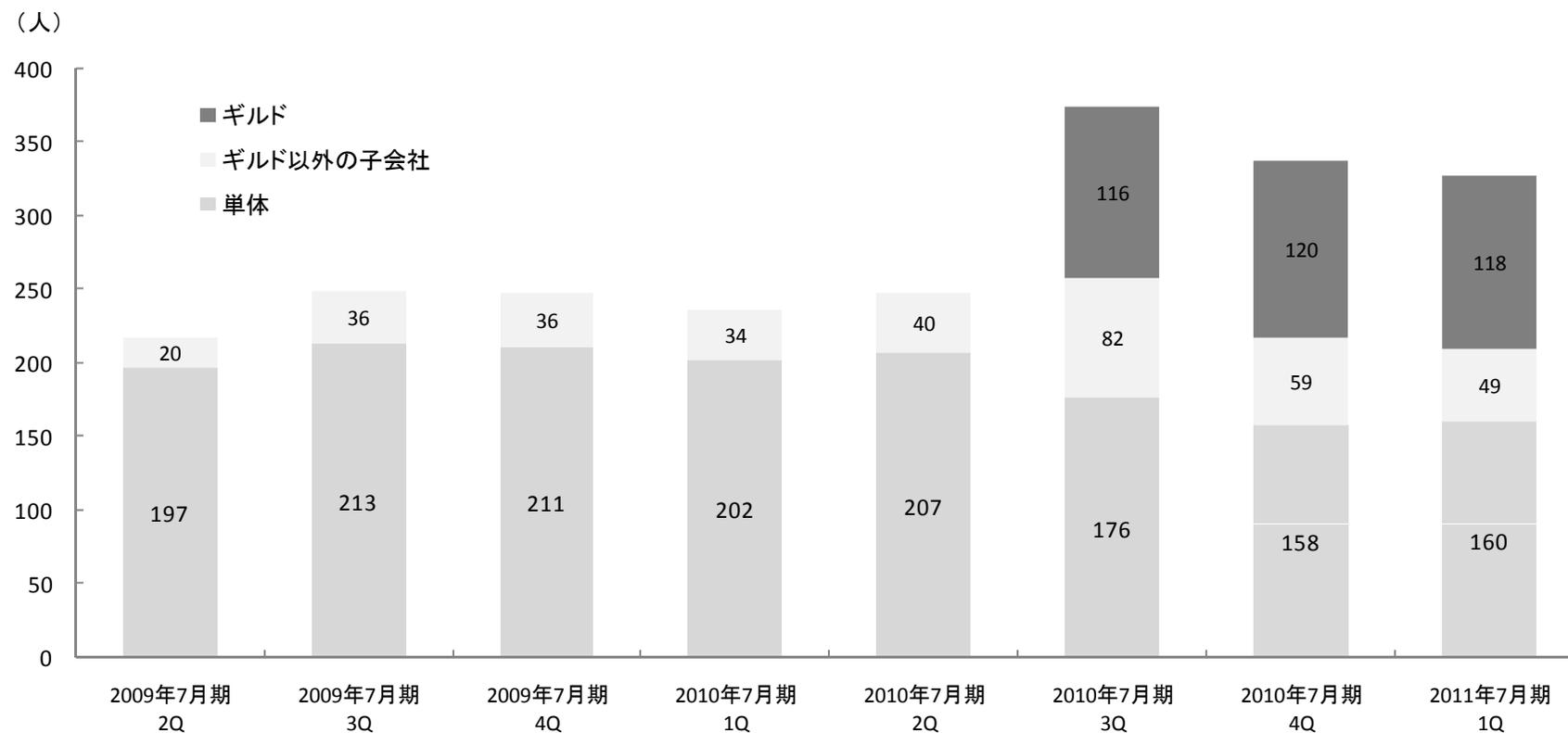
- ・その他事業 (アパレルEC)

他 連結子会社 1社

(2010年10月現在)

B-5.社員数の推移(単体・連結)

正社員数の推移



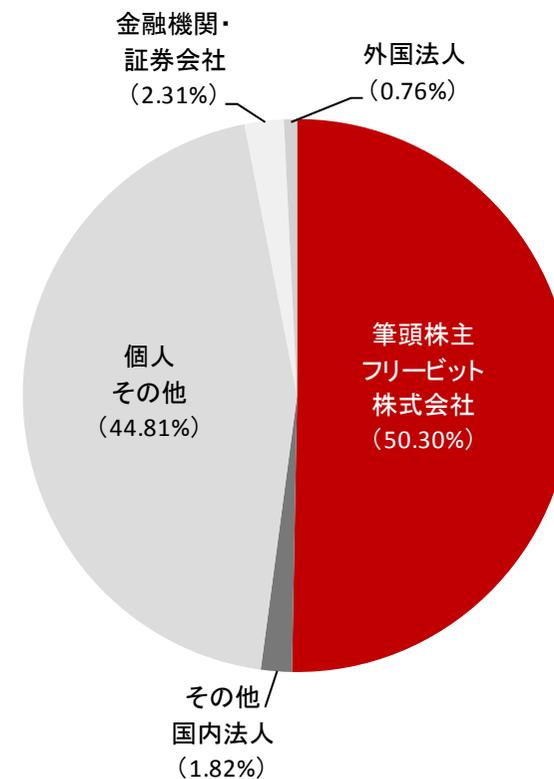
B-6.株主の状況

上位株主(1位～10位)の状況

2010年8月16日現在

順位	株主氏名	所有株数	持株比率
1	フリービット株式会社	72,204	50.30%
2	芳賀 麻奈穂	11,476	7.99%
3	坂本 剛(当社元取締役)	2,004	1.40%
4	ブルーピット株式会社	1,500	1.04%
5	一般個人株主	1,300	0.91%
6	みずほ証券株式会社	1,096	0.76%
7	一般個人株主	650	0.45%
8	一般個人株主	640	0.45%
9	辻 準	600	0.42%
10	大和証券株式会社	518	0.36%

(注) 本株主保有状況は、2010年9月17日開催の臨時株主総会の基準日である2010年8月16日付で確定した株主名簿に基づいたものです。



(添付資料) C.財務データ

C 財務データ

1. 財務データ(連結PL)	45
2. 財務データ(連結BS)	46
3. 財務データ(事業セグメント別売上)	47

C-1.財務データ(連結PL)

(単位:百万円)	2007年7月期	2008年7月期	2009年7月期	2010年7月期
売上高	5,142	9,444	13,249	14,129
売上原価	3,387	6,304	9,912	10,520
売上総利益	1,755	3,140	3,337	3,608
役員報酬	103	106	159	170
給与及び手当	310	577	786	1,068
採用教育費	69	76	68	37
地代家賃	86	148	453	592
貸倒引当金繰入額	16	42	70	301
貸倒損失	1	-	5	-
減価償却費	-	-	-	80
のれん償却費	-	-	-	357
その他	325	694	1,150	1,267
販売費及び一般管理費	915	1,645	2,694	3,876
営業利益又は営業損失(△)	839	1,494	642	△268
営業外収益	32	37	73	68
営業外費用	20	48	103	221
経常利益及び経常損失(△)	851	1,484	613	△421
前期損益修正益	-	7	-	14
固定資産売却益	-	-	73	31
関係会社株式売却益	-	-	86	-
その他	-	5	10	2
特別利益	-	12	170	49
固定資産除却損	-	82	45	20
固定資産売却損	-	-	-	22
本社移転費用	-	-	72	51
前期損益修正損	-	-	22	-
減損損失	12	2	181	138
商品評価損	-	-	82	-
投資有価証券評価損	-	-	-	737
その他	-	-	150	187
特別損失	12	2	555	1,158
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	839	1,494	227	△1,530
法人税、住民税及び事業税	384	693	164	44
過年度法人税等	-	-	-	16
法人税等調整額	△22	△29	10	33
法人税等合計	361	663	175	94
少数株主利益又は少数株主損失(△)	-	△6	△53	26
当期純利益又は当期純損失(△)	477	836	105	△1,651

C-2.財務データ(連結BS)

(単位:百万円)	2007年7月期	2008年7月期	2009年7月期	2010年7月期
現金及び預金	628	2,016	1,680	1,405
売掛金	888	1,735	1,942	1,845
未収入金	888	52	115	118
商品	15	131	80	282
その他	116	159	469	254
流動資産合計	1,649	4,093	4,286	3,904
建物(純額)	-	141	233	322
工具器具備品(純額)	-	298	270	265
土地	-	172	172	172
その他(純額)	39	1	11	100
有形固定資産	39	613	686	859
のれん	147	1,083	837	2,385
その他	75	175	103	64
無形固定資産	223	1,258	940	2,449
投資有価証券	19	313	1,431	330
差入保証金	19	342	467	666
繰延税金資産	19	34	54	70
その他	128	42	162	76
投資その他の資産	147	732	2,114	1,142
固定資産合計	410	2,604	3,742	4,452
総資産	2,059	6,698	8,028	8,356
買掛金	399	918	922	1,724
短期借入金	45	1,350	2,550	2,434
1年内返済長期借入金	0	276	394	718
未払金	0	276	177	397
未払法人税等	-	507	108	126
その他	485	383	90	209
流動負債合計	930	3,436	4,241	5,608
長期借入金	-	383	670	1,188
その他	-	24	131	247
固定負債合計	-	407	801	1,435
負債合計	930	3,844	5,042	7,044
資本金	168	662	691	697
資本剰余金	139	633	662	668
利益剰余金	813	1,505	1,527	-180
株主資本合計	1,121	2,800	2,880	1,184
純資産合計	1,129	2,854	2,985	1,312
負債純資産合計	2,059	6,698	8,028	8,356

C-3.財務データ(事業セグメント別売上)

(単位:百万円)	2007年7月期	2008年7月期	2009年7月期	2010年7月期
SEO	1,138	1,931	1,809	1,263
リスティング	2,746	4,206	5,261	4,406
その他広告	278	407	316	369
付加サービス	127	153	251	196
Web戦略支援事業	4,291	6,698	7,638	6,236
アフィリエイト広告事業	118	820	1,915	2,420
Webサイト運営・販売	431	498	362	4
EC	300	1,063	1,387	1,139
インターネットメディア事業	731	1,561	1,750	1,143
データセンター事業	-	217	649	676
その他広告代理事業	-	-	275	1,198
アパレル事業	-	-	-	1,501
その他事業	-	146	1,053	1,008
消去又は全社	-	-	△32	△56
連結売上高合計	5,142	9,444	13,249	14,129

■ 事業セグメントの変更

2011年7月期第1四半期より、事業セグメントの区分について、以下のとおり変更

- ①フルスピードクラブ、SEOおよびリスティング広告(代理)、アフィリエイト広告(代理)などのWeb戦略支援サービス、その他法人向けサービスなどを含む「インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業」を新設
- ②「アフィリエイト広告事業」を「アフィリエイトサービスプロバイダー事業」に変更
- ③「その他広告代理事業」の事業区分を廃止(2010年7月期に子会社を売却)

【変更後の事業セグメント】

- ・インターネットマーケティングを中心とした法人支援事業:フルスピードクラブ、SEO、リスティング広告、アフィリエイト広告、その他広告、その他法人向けサービス)
- ・アフィリエイトサービスプロバイダー事業
- ・インターネットメディア事業(Webサイト運営・販売、EC)
- ・データセンター事業
- ・アパレル事業
- ・その他事業

(添付資料) D.インターネット関連用語集

D インターネット関連用語集

- | | |
|---------|----|
| 1. 用語集① | 49 |
| 2. 用語集② | 50 |

<p>■ SEM</p>	<p>Search Engine Marketing:「検索エンジンマーケティング」とも呼ばれる。SEOとリスティング広告を合わせた総称であり、検索エンジンを広告媒体として積極的に活用するプロモーション活動を意味する。</p>	<p>■ EC</p>	<p>Electronic Commerce:「電子商取引」とも呼ばれる。インターネット等コンピューターネットワーク上で、電子的な情報交換により商品やサービスを分配・売買すること。</p>
<p>■ SEO</p>	<p>検索エンジン最適化(英: Search Engine Optimization, SEO:サーチ・エンジン・オプティマイゼーション)はある特定の検索エンジンを対象として検索結果でより上位に現れるようにウェブページを書き換えること。または、その技術のこと。</p>	<p>■ ソーシャル・メディア</p>	<p>Social Media:ユーザーが情報を発信し、形成していくメディアのこと。ブログやSNS、インターネット上でお気に入り共有するソーシャルブックマーク、オンライン百科事典、クチコミサイト、掲示板などがある。</p>
<p>■ リスティング広告</p>	<p>検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果に表示されるテキスト広告のこと。通常の広告とは異なり、広告運用が不可欠。</p>	<p>■ SNS</p>	<p>Social Networking Service:参加するユーザーが互いに自分の趣味、好み、友人、社会生活などのことを公開しあったりしながら、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型のWebサイトのこと。代表的なSNSとしては、mixiが挙げられる。</p>
<p>■ アフィリエイト広告</p>	<p>Webサイトやブログ等が企業サイトへのバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がそのリンクを経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。</p>	<p>■ Twitter</p>	<p>「いまなにしてる?」(What are you doing?)という質問に答え、短いテキストを投稿するだけのサービスで、「ミニブログ」と説明されることもある。米国で2006年7月に始まったサービスで、運営元は同名のベンチャー企業。</p>

<p>■ クラウド</p>	<p>Cloud: ネットワーク上に存在するサーバが提供するサービスを、それらのサーバ群を意識することなしに利用できるというコンピューティング形態を表す言葉。</p>	<p>■ ISP</p>	<p>Internet Services Provider: インターネット接続業者。電話回線やISDN回線、ADSL回線、光ファイバー回線、データ通信専用回線などを通じて、顧客である企業や家庭のコンピュータをインターネットに接続する。</p>
<p>■ ユビキタス</p>	<p>Ubiquitous: 情報化社会においてコンピューティング技術がいつでも・どこにでも存在し、利用できるという概念。 あらゆる情報端末、機器、物品が、多様なネットワークによって接続される環境のことをユビキタス・ネットワークと言う。</p>	<p>■ IPv6</p>	<p>アドレス資源の枯渇が心配される現行のインターネットプロトコル(IP)IPv4をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコル。</p>
<p>■ スマートフォン</p>	<p>Smart Phone: コンピュータを内蔵し、音声通話以外に様々なデータ処理機能を持った携帯電話。電子メール機能やWebブラウザを内蔵し、インターネットに接続することができる。ソフトバンクのiPhone、ドコモのXperia、KDDIのIS seriesがこれにあたる。</p>	<p>■ IP</p>	<p>Internet Protocol: インターネットプロトコル。ネットワークに接続されているコンピュータの住所づけ、及び通信方法を定義する規約。インターネットの基礎部分となる重要な役割を持つ。</p>
<p>■ アプリ</p>	<p>Appli: ある特定の目的のために設計されたソフトウェア。「応用ソフト」とも呼ばれ、どのソフトウェアにも共通する基本的な機能をまとめたOS(基本ソフト)に、ユーザが必要とするものを組み込んで利用する。</p>	<p>■ 百度 (バイドウ)</p>	<p>Baidu: 中国におけるインターネット検索エンジンの最大手。2007年3月現在では、中国におけるインターネット利用者の7割近くが百度検索を利用していると言われており、世界的大手のYahooやGoogleを抑えて中国国内トップシェアを獲得している。</p>

本資料は株式会社フルスピードに関する情報提供を目的とし、投資家の皆様にご理解いただくために作成したものであり、当社が発行する有価証券に対する投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し、また確約するものではありません。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあり、また予告なしに変更されることがある点を認識された上でご利用ください。

IRお問い合わせ先

■ IR担当窓口

株式会社フルスピード

管理本部 企画・IR部

TEL: 03-5728-4460 / FAX: 03-5728-4461

E-mail: ir@fullspeed.co.jp